

沖縄総合事務局 開発建設部 建設コンサルタント業務審査委員会  
議事概要(港湾空港所管)

開催日及び場所		平成23年7月25日(月) 沖縄総合事務局 4階 事業審査室	
委 員		委員長 原 久夫 (琉球大学工学部環境建設工学科 准教授) 委 員 渡嘉敷 直彦 (琉球大学工学部環境建設工学科 講師) 委 員 下里 哲弘 (琉球大学工学部環境建設工学科 准教授)	
対象案件		総件数 4 件	(備考)
建設 コン サル タ ン ト 業 務	一般競争入札(総合 評価落札方式)	件	
	公募型プロポーザル 方式	件	
	簡易公募型プロポー ザル方式	件	
	簡易公募型に準じた プロポーザル方式	件	
	標準プロポーザル方 式	件	
	公募型総合評価落札 方式	件	
	簡易公募型総合評価 落札方式	件	
	簡易公募型に準じた 総合評価落札方式	4 件	
		意 見 ・ 質 問	回 答
委員からの意見・質問、 それに対する回答等		別紙のとおり	別紙のとおり
委員による審議結果の 内容		上記について、発注方式、評価基準、評価結果等の説明を行い、原案通り 了承された。	

(別 紙)

意見・質問	回 答
<p>○事案の審議について</p> <p>1. 簡易公募型に準じた総合評価落札方式</p> <p>1) 那覇空港滑走路増設環境影響検討業務</p> <p>○ 過年度からの継続業務である為、今年度業務が全体計画の中のどのステップにあるかを分かり易く示すことが必要ではなかったか。</p> <p>○ 1者のみの参入であるが、参入拡大の工夫を図っているか。</p> <p>○ 継続業務であることから、発注方式を見直し複数年契約などにより参入を拡大する事はできないか。</p>	<p>・ 関連業務の報告書は参考資料として開示しているが、ご意見について、次年度以降どのような対応が可能か検討する。</p> <p>・ 過年度はプロポーザル方式であったが、総合評価方式へと入札方式が変更となった。また、評価項目の業務成績について、全国の整備局まで拡大した。</p> <p>・ 空港整備費の予算規模が小さく、制度上も厳しいと考える。</p>